



うずらの里

鶉公民館だより

〒910-3143 福井市砂子坂町5-58 ☎・FAX 83-0433

平成31年(2019年) 5月 8日 発行 facebook <https://www.facebook.com/uzurakouminkan>

コウノトリ5月号

その後の
その後

コウノトリペア どうなった？

九頭竜川を飛び越え春江で抱卵

コウノトリペアその後の情報です。(5/4付福井新聞に掲載されましたが)本郷地区と鶉地区のあちらこちらで巣づくりに挑戦していましたが、なかなかうまくいかず、4月20日から九頭竜川を挟んだ春江町集落に狙いを変えました。

わずか2日間で巣を作り、卵を産んでしまったようです。繁殖時期ギリギリのところまで来ていたのでしょう。3月初旬から始まった営巣活動の終点地は鶉地区ではありませんでしたが、なんとか卵を産めてよかったです。今は、無事卵が孵り、かわいい雛が育ってくれることを祈るばかりです。また、餌は春江だけでは足りないようなので、これからも鶉地区にたびたび姿を見せてくれるでしょう。2か月あまりコウノトリを見守り続けて感じたこと・・・。

- ・人間を怖がりながらも人間の住んでいるすぐ近くで営巣。ツバメやすずめと同じで、人間とともに暮らしていく鳥なんだな～
- ・夫婦、大変仲が良い。1度つがいになったら一生らしい。2羽で巣作り、2羽で交互に抱卵。巣作りはオスの方が熱心で、メスは食事に忙しかった。なんだか人間ぽくてほほえましい。
- ・声は出ず、嘴をたたくクラタリングという音で意思表示をする。会話がないのにどうやって解りあえているのか？離れて行動していても、ちゃんと会うことができるのが不思議。

国の特別天然記念物です。
 近くで騒いだりカメラを向けると巣を放棄する恐れがあります。
 150m以上離れた場所から車の中で驚かさないように静かに見ましょう。



巣の中で卵を抱くコウノトリ

2019 04 24

来年こそは鶉地区で子育てをしてもらいましょう。そのための環境整備を今から！！